

国立大学法人兵庫教育大学

# 学 報

第329号 平成21年 9月



大学院学校教育研究科入学者選抜試験（前期）  
（関連記事 2 ページ）



免許状更新講習「学校づくりに活かす教育の最新事情 ―学校知の再構成―」  
「英語活動の実践」 （関連記事 3 ページ）

## 目 次

◇学 事	2	・ 留学生が加東市夏まつりに参加
・ 平成22年度大学院学校教育研究科入学者選抜試験（前期）受験者状況		・ 科学研究費補助金説明会を実施
◇人 事	3	・ 附属幼稚園剪定作業等の実施
・ 人事異動		・ 附属小学校愛校作業の実施
◇諸 報	3	・ 附属中学校PTA愛校作業の実施
・ 免許状更新講習の実施		< 兵庫教育大学新型インフルエンザ対応方針 >
・ 「アジア若者塾2009」への参加		◇主要日誌
		9

## — 学 事 —

## 平成22年度大学院学校教育研究科入学者選抜試験（前期）受験者状況

平成22年度大学院学校教育研究科入学者選抜試験（前期）を8月22日（土）及び8月23日（日）に実施した。

受験者数等は次のとおりである。

課程	専攻・コース等		募集人員	志願者数	受験者数		
			人	人	人		
修士課程	学校教育学専攻	教育コミュニケーションコース	昼間クラス	8	9 (3)	9 (3)	
			夜間クラス	若干人	1 (1)	1 (1)	
		幼年教育コース	昼間クラス	8	3	2	
			夜間クラス	若干人	5 (4)	5 (4)	
		学校心理学コース	昼間クラス	13	10 (5)	10 (5)	
	臨床心理学コース	昼間クラス	25	103 (10)	100 (9)		
	特別支援教育学専攻	心身障害コース		18	17 (5)	17 (5)	
		特別支援教育コーディネーターコース		8	7 (7)	7 (7)	
	修士課程	教科・領域教育学専攻	言語系コース	昼間クラス	18	21 (12)	21 (12)
				夜間クラス	若干人	1 (1)	1 (1)
社会系コース			昼間クラス	16	18 (1)	17 (1)	
			夜間クラス	若干人	1	1	
自然系コース			昼間クラス	13	30 (5)	28 (5)	
			夜間クラス	若干人	1	1	
芸術系コース			昼間クラス	15	15 (4)	15 (4)	
			夜間クラス	若干人	3 (1)	3 (1)	
生活・健康・総合内容系コース			昼間クラス	16	14 (6)	14 (6)	
			夜間クラス	若干人	4	3	
小 計			158	263 (65)	255 (64)		
専門職学位課程	教育実践高度化専攻	学校経営コース	昼間クラス	20	8 (8)	8 (8)	
			夜間クラス		1 (1)	1 (1)	
		授業実践リーダーコース	昼間クラス	25	12 (9)	12 (9)	
			夜間クラス	若干人	1 (1)	1 (1)	
		心の教育実践コース	昼間クラス	16	4 (4)	4 (4)	
			夜間クラス	若干人	1 (1)	1 (1)	
小学校教員養成特別コース		25	44	44			
小 計			86	71 (24)	71 (24)		
合 計			244	334 (89)	326 (88)		

(注)1. 志願者数及び受験者数は、第1志望者によるものを示す。

2. ( )内の数は、3年以上の教職経験を有する現職教員(同意書なしを含む。)を内数で示す。

## — 人 事 —

## ○人事異動

(大学院等)

年月日	発令事項	新 職 名 等	氏 名	旧 職 名 等
21. 8. 31	任期満了		宮 内 久 絵	助 教 (臨床・健康教育学系)
21. 9. 1	採用	教 授 (臨床・健康教育学系)	小 林 小 夜 子	

(事務局)

年月日	発令事項	新 職 名 等	氏 名	旧 職 名 等
21. 9. 1	配置換	総務課付 (文部科学省研修生)	藤 井 良 憲	教育支援課教務チーム課員

## — 諸 報 —

## ○免許状更新講習の実施

8月3日(月)から免許状更新講習を開始した。8月の講習では、兵庫県内を中心に、延べ約2,000名が受講した。受講者は、暑い中、熱心に講義、演習、実験、実習等に取り組んだ。

本年は、10月、11月、12月の土日にも同講習を実施する予定である。



「情報社会・情報技術の進展と情報教育1」



「合奏の基礎 ～クラリネットを中心に～」

「超簡単！実験・観察で学ぶ小学校での生物の基礎基本」



## 免許状更新講習（8月実施）受講者数一覧

(必修領域講習)

No	講習日 (8月)	講習名	受講者数 (人)
1	8, 9	学校づくりに活かす教育の最新事情 —学校知の再構成—	189
2	18, 19		189
3	25, 26		168

(選択領域講習)

No	講習日 (8月)	講習名	受講者数 (人)
1	3	社会科における「言語力」の育成と「習得・活用・探究」	18
2	3	「伝統と文化」に関する教育	26
3	3	英語の語法・文法を授業に役立てる	19
4	3	高校家庭科セミナー —保育学, 家庭経営学, 食物学の視点から—	11
5	4	学習意義論を起点とした古文指導のあり方について	31
6	4	社会の中の日本語力と学校の中の国語力	36
7	4	公民における思想的内容の教え方のポイント	24
8	4	感性と創造性をひらく図工科学習の研究	29
9	4	種目主義を克服するボール運動の指導	47
10	4	情報社会・情報技術の進展と情報教育2	30
11	6	感性と創造性をひらく図工科学習の研究	28
12	6	情報社会・情報技術の進展と情報教育1	29
13	7	超簡単! 実験・観察で学ぶ小学校での生物の基礎基本	44
14	7	合奏の基礎 ～クラリネットを中心に～	5
15	8	「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」に関する国語科授業づくり	20
16	10	新しい国語科学習指導要領が求める授業づくり	50
17	10	図形の面積・体積・表面積を見つめ直す	31
18	10	現代的な課題に対応した学校保健	21
19	11	地震のしくみと大地の変化	36
20	11	物語や演説を通して読み解く異文化情報	35
21	11	特別支援教育の動向	48
22	17	教員に必要なピアノスキル	20
23	17	想像力を高める図工・美術教材研究	28
24	17	文字を手書きすることの意義と価値(書写)	29

25	17	体育授業における教師教養の醸成 —楽しい体育とは何か—	64
26	18	新教育課程における社会科関連教科の学習指導	23
27	18	想像力を高める図工・美術教材研究	10
28	19	社会科授業における習得・活用のあり方	26
29	19	英語活動の実践	40
30	20	力のつく, 楽しい説明的文章の授業づくり	47
31	20	英語力の養成と教室内英語	27
32	20	美術鑑賞指導の実践基礎	16
33	20	子どもに対する教師の見方をふりかえる —学級経営の充実のために—	38
34	24	古典・古典語を通してみる国語科授業を考える	11
35	24	算数教育講座	61
36	24	教えたい! 小学校理科における物理実験のポイント	42
37	24	小学校における歌唱・合唱指導の展開	19
38	24	芸術科書道の理論と実践	4
39	24	体育授業における教師教養を踏まえた指導法の確立 —個人種目を対象に—	22
40	25	小学校の歴史学習における教材研究	35
41	25	理科授業の設計	19
42	25	英語力の養成と教室内英語	9
43	25	食育の考え方と進め方	57
44	26	中学校・高校の歴史学習における教材研究	33
45	26	数・文字式・方程式	27
46	26	幼稚園における集団づくり	39
47	27	日本・西欧比較音楽史	9
48	27	小学校・中学校 新学習指導要領における「総合的な学習の時間」の理論と実践	36
49	27	学級における人間関係	41
50	28	授業に生かす「短編小説構造論」	35
51	28	算数教育講座	29
52	28	物質とエネルギー	17
53	28	作・編曲法の基礎及びその展開	14
54	28	体育授業における教師教養を踏まえた指導法の確立 —集団種目を対象に—	13



### ○「アジア若者塾2009」への参加

8月3日(月)～23日(日)までの約3週間、神戸市のJICA兵庫国際センターにおいて、「兵庫国際サマースクール(アジア若者塾)2009」が開催された。この若者塾は兵庫県の国際的な次世代育成事業として2006年から始まり今回で4年目である。

今年も兵庫県内大学への留学生、日本人学生、外国から直接招聘した学生など、中国、韓国、フィリピン、インドネシア、タイ、ラオス、米国そして日本の8カ国から合計29名が参加し、本学からは、交流協定を結ぶ米国の大学・ヴァンダービルド大学ピーボディ教育学部大学院1年生のバレリー・レレックさんが参加した。

「アジア・太平洋地域における協力の枠組みづくり」をテーマに、同地域共通の課題や地球的規模の問題について、専門家の講義を聴き、国際共通語の英語で、それぞれの経験や意見を交換し合った。



### ○留学生が加東市夏まつりに参加

8月5日(水)に加東市夏まつり実行委員会主催による「加東市夏まつり」が、東条湖特設会場で開催され、留学生やその家族たち約50人が「兵教大留学生連」として参加した。

留学生、色とりどりのゆかた姿で「加東よしよし音頭」「炭坑節」「播州音頭」などの曲にあわせて踊りの輪に加り、楽しい一時を過ごした。

留学生にとっては、地域の昔ながらの祭りに参加することによって、日本の風俗や文化への理解や地域住民との交流を深める良い機会となった。



### ○科学研究費補助金説明会を実施

8月21日（金）、共通講義棟において科学研究費補助金説明会を実施し、教職員38名が参加した。

この説明会は、科学研究費補助金の獲得及び適正な執行を図ることを目的として実施したもので、川本副学長の挨拶の後、自然・生活教育学系・加藤准教授、竹村准教授が研究計画調書の作成等についての説明を行った。

加藤准教授、竹村准教授は、ともにこれまでの経験を踏まえて、研究計画調書作成の留意点等について話し、今後の申請において大変参考となるものであった。

また、高宮研究支援課長が「科学研究費補助金制度の概略」や「本学の取り組み」について、畑財務課長が不正防止を中心とした「公的研究費の適正な使用」について説明を行い、今後の応募や公的研究費の執行にあたり大いに役立つものとなった。



### ○附属幼稚園剪定作業等の実施

8月29日（土）、附属幼稚園において、PTA役員、「おやじの会」を中心に、保護者が多数集まり、園内の植木の剪定作業を行った。

さらに、9月1日（火）には、2学期始業式を終えたばかりの園児と保護者が一緒に草引きや窓ふきを行い、園内隅々まで美しくなり、とても気持ちよく2学期を迎えることができた。

### ○附属小学校愛校作業の実施

8月29日（土）、附属小学校において、PTA主催で愛校作業を実施し、新学期を気持ちよく迎える準備を整えた。

5年生は、「トイレ掃除に学ぶ会」の方々の指導のもと、洗剤をあまり使わず、手で磨くトイレ清掃を教わった。初めて参加した生徒には、とまどいも見られたが、一所懸命にトイレを磨く中で、「謙虚な心」や「感謝する心」を学ぶことができた。



### ○附属中学校PTA愛校作業の実施

8月29日（土）、附属中学校において、PTA愛校作業を実施した。

2時間にわたり、約90名の保護者が参加し、グラウンド内の除草作業や草刈りなどの作業を行った。体育祭を目前にして、グラウンドが整備され、さわやかな2学期のスタートを迎えることができた。

## 兵庫教育大学新型インフルエンザ対応方針

2009. 08. 07作成

## 1. 国の対応について

厚生労働省は、新型インフルエンザについて、感染者の全数把握をやめ、集団感染を中心とした報告を求めらるることに切り替えた。従来の季節性インフルエンザと治療法に大差がなく、新型インフルエンザとしての確定診断を行う必要性が低いと判断し、集団感染事例を早期に把握するため、学校や職場など、10人以上の集団で1週間に2人以上の感染の疑いが出た例に限って報告を求めることとした。

また、新型インフルエンザの判定を行う遺伝子検査は、集団で患者が発生した初回のみ実施し、以降は「疑い例」として取り扱うこととした。

新型インフルエンザの特徴として、38度以上の発熱及び鼻水や鼻づまり、喉の痛み、咳のいずれかの症状を呈し、下痢、嘔吐を伴う場合もあるとしている。

## 2. 本学の今後の対応方針

大学、附属学校において、感染患者の隔離（自宅療養）を中心に対応する。

感染患者（疑われる者も含む）が増加した場合、附属学校では、学級閉鎖等の検討を行う。大学では、原則として休講等の措置は行わないが、患者の増加状況により、対応の検討を行う。

## ①附属学校における対応

(1) 幼児・児童・生徒・教職員は、医療機関でインフルエンザと診断された場合は、A型かB型かを含め学校に報告する。

(2) 校園長は、他の幼児・児童・生徒・教職員への健康調査を行い、患者と接触した者で、健康のすぐれない者については、登校園（出勤）せずに、医療機関を受診するよう指示するとともに、幼児・児童・生徒・教職員及び保護者に状況説明及び注意喚起を行う。

インフルエンザA型の場合は、発生状況について、山国地区事務室を通じて総務課に報告する。

(3) 校園長は複数名のインフルエンザA型患者が発生した場合、加東健康福祉事務所及び山国地区事務室を通じて総務課に報告する。

インフルエンザ（A型・B型）で欠席している幼児・児童・生徒の状況により、養護教諭、学校医と相談の上、学級閉鎖等の措置の検討を行う。

学級閉鎖等の措置を行った場合は、加東健康福祉事務所及び山国地区事務室を通じて総務課に報告する。

## ②大学における対応

(1) 学生・教職員は、医療機関でインフルエンザA型と診断された場合は、必ず保健管理センターに報告する。

保健管理センターは、総務課・学生支援課（患者が学生の場合）へ報告する。

(2) 総務課（患者が教職員の場合）・学生支援課（患者が学生の場合）は、感染患者の発症当時の行動を調査し、患者と接触した者で、健康のすぐれない者については、事前連絡してから、医療機関を受診するよう指示する。

学生・教職員に状況説明及び注意喚起を行う。（HP、メール、掲示）

複数名の患者が発生した場合は、加東健康福祉事務所等へ報告する。休講等の措置は、原則として行わないが、患者の増加の状況により、学長、保健管理センター所長等において、対応措置を検討する。

## ※連絡先

加東健康福祉事務所	0795-42-6287
文部科学省国立大学法人支援課支援第三係	03-6734-3765
学校教育健康課保健指導係 (附属学校関係)	03-6734-2918
兵庫県大学課	078-362-3103
播磨東教育事務所	0795-42-9444
加東市教育委員会	0795-48-3333

## 感染防止に関する留意事項

1. 発熱，咳，咽頭痛，鼻水等の新型インフルエンザの症状があるときは，大学へ登校や出勤をせず，また，課外活動の参加もしないでください。自宅療養を心がけ，症状により，医療機関を受診してください。その際，院内感染を防止するため，事前に医療機関に電話をしてください。受診先がわからない場合は，健康福祉事務所の「新型インフルエンザ相談窓口」にお問い合わせ下さい。
2. 医療機関で「インフルエンザA型」と診断された場合は，保健管理センター（TEL/FAX：0795-44-2288）へ必ず連絡してください。
3. うがいと手洗い，咳エチケット（風邪などで咳やくしゃみが出るときに，他人に感染させないためのエチケット）を励行してください。

加東健康福祉事務所 新型インフルエンザ健康相談窓口 電話0795-42-6287



— 8 月 主 要 日 誌 —

月 日	事 項
8月3日(月)	免許状更新講習(～28日・8月開催分)
4日(火)	大学単独主催の研修講座「石っころのおもしろさー岩石鉱物鑑定入門ー」 大学単独主催の研修講座「「デンブンの消化」の実験を通して学ぶ科学的な見方・考え方の研修」 大学単独主催の研修講座「校内研修の企画と進め方ー教職員が主体的に参加できる研修をつくるには?ー」 大学単独主催の研修講座「子どもと学級をみる目を広げる」
5日(水)	大学院入学試験委員会(第3回) 加東市夏まつり
6日(木)	大学単独主催の研修講座「子どもと学級をみる目を広げる」
7日(金)	大学単独主催の研修講座「「情報とコンピュータ」における新しい授業デザイン2009」 大学単独主催の研修講座「特色ある体験活動を生かす道徳の時間の授業づくり」
10日(月)	教員採用試験2次対策模擬面接(～11日) 大学単独主催の研修講座「機械翻訳を活用したグローバルな情報受発信の実習」
11日(火)	兵庫県立教育研修所との共催研修講座「小学校 表現する喜びを実感させる音楽科基礎講座ー歌唱・器楽指導の基礎を学ぼうー」(～12日)
12日(水)	夏季一斉休業(～14日)
17日(月)	教員採用試験2次対策模擬面接 大学単独主催の研修講座「中高生のためのスピーキングテスト」 県教育委員会との共催研修「10年経験者生徒指導研修」(～18日)
18日(火)	兵庫県立教育研修所との共催研修講座「小学校 できる喜びを実感させる体育科基礎講座ー器械運動の指導の基礎を学ぼうー」(～19日)
19日(水)	教員採用試験2次対策模擬面接
20日(木)	大学単独主催の研修講座「「技術とものづくり」における新しい授業デザイン2009」 大学単独主催の研修講座「「かかわり」から教育を見つめなおすー教育

コミュニケーションの理論と実践ー」(～21日)

免許法認定公開講座「知的障害児指導法」(～21日)

21日(金) 科学研究費補助金説明会  
大学単独主催の研修講座「実践者と研究者のコラボレーションによる国語科授業づくりセミナーーよりよい校内研修会づくりのモデルとしてー」

22日(土) 大学院学校教育研究科入学者選抜試験(前期)(～23日)



24日(月) 大学単独主催の研修講座「教師としての成長・発達について考えるー教職生活の中でマナーリズムやバーンアウトに陥らないためにー」  
大学単独主催の研修講座「特別支援教育における「通常学級の授業づくり」と「個別の指導計画」」(～25日)  
公開講座「図画工作科教材開発塾」(～25日)

25日(火) 研究推進委員会(第3回)

29日(土) 附属小学校愛校作業  
附属中学校愛校作業  
公開講座「和 문화体験講座ー親子によるそばの栽培から手打ちまでの食文化体験」



編集発行 **兵庫教育大学総務部企画課**

〒673-1494 兵庫県加東市下久米942-1

電話 (0795) 44-2334

<http://www.hyogo-u.ac.jp/>